

# 仁木町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

仁木町においては、日常の買い物や通院を余市町等の町外に依存しているが、路線バスのバス停やJR駅までのアクセス性が低く、公共交通を利用できない地域も存在する。また、人口減少や自家用車の普及により、路線バスの利用者は減少を続け、収支悪化による行政負担が増加している。このため、銀山地区における既存の路線バスに代わり、より持続性が高く、より利便性が高い交通体系を目指して、「仁木町予約制バス」の本格運行を開始し、仁木町の生活交通を支える新たな公共交通として、継続的に運行していくことを目的とする。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

【目標①】仁木町予約制バスの運行経費(町負担額)を1,000万円/年以下とする。

※H27年度の銀山地区における路線バスに対する町負担額は1,360万円/年

【目標②】銀山地区における仁木町予約制バスの利用者数を11人/日以上とする。

※H25.10月～H26.9月の銀山地区における仁木町予約制バス利用者数は9人/日

(仁木町地域公共交通網形成計画 P22、23 参照)

## 令和4年度事業概要

銀山～余市系統

区域運行 銀山地区～余市市街地

往復8便/日

【車両減価償却費等国庫補助】

## 地域公共交通の現況

- ・JR函館本線(仁木駅、然別駅、銀山駅)
- ・北海道中央バス(株)(町内2路線)、ニセコバス(株)(町内1路線)
- ・スクールバス(3路線)
- ・ハイヤー会社(1社)

## 協議会開催状況

令和3年6月28日 令和3年度第1回協議会(書面議決)  
主な協議事項: 予約制バスのルート拡大等に係る検討項目、R4補助年度地域内フィーダー系統確保維持計画について

令和3年11月5日 令和3年度第3回協議会を開催  
主な協議事項: 予約制バス利用実態について

令和4年1月18日 事業評価(書面議決)  
主な協議事項: 予約制バスの事業評価について

令和4年2月24日 令和3年度第3回協議会  
主な協議事項: 予約制バス運行計画の改善検討結果報告

令和4年6月28日 令和4年度第1回協議会  
主な協議事項: 予約制バス(ニキバス)の運行計画・体制について、R5補助年度地域内フィーダー系統確保維持計画について

令和4年11月1日 令和4年度第2回協議会  
主な協議事項: 予約制バス利用実態について

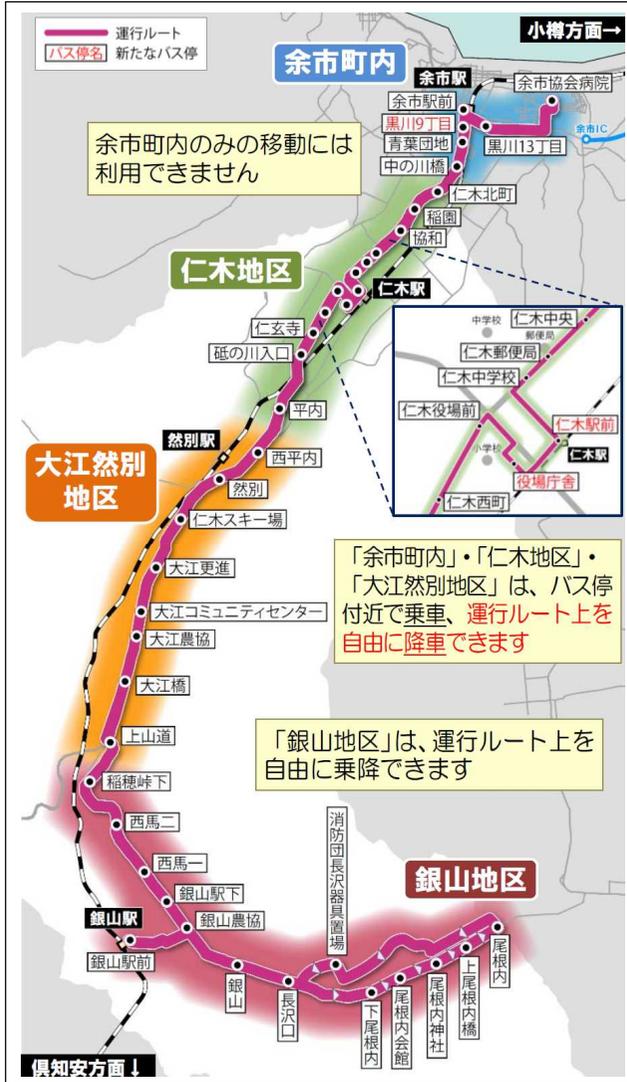
令和5年1月17日 事業評価(書面議決)  
主な協議事項: 予約制バスの事業評価について

# 令和4年度事業の実施状況

## 1) プロセス、創意工夫

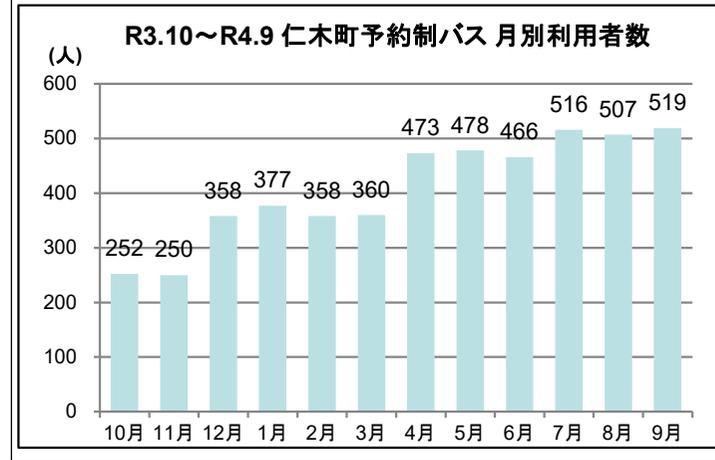
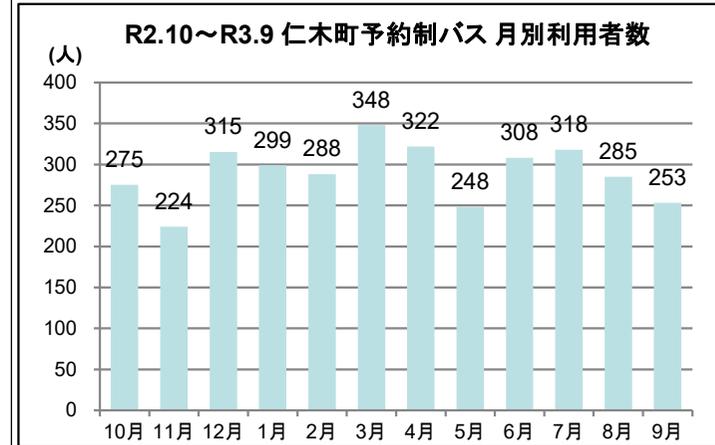
- ・利用者の増大を目的に、運行ルートの見直しを実施。
- ・既存システムの予約負担軽減を目的に、令和4年4月より予約なしでの乗車を可能とした。

## 2) 運行系統



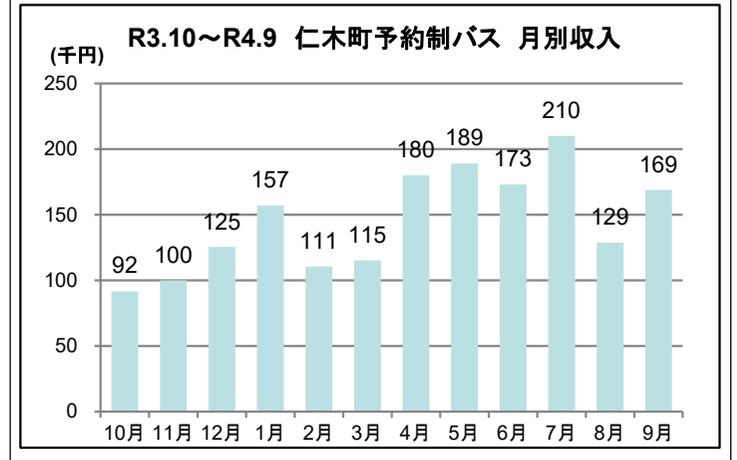
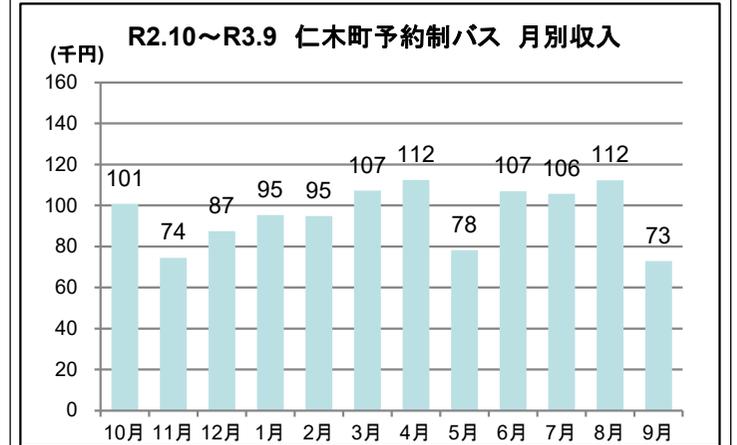
## 3) 利用実績

年間利用者数は、下図のとおり。  
 令和3年度は3,483人  
 令和4年度は4,914人



## 4) 収入実績

年間収益は、下図のとおり。  
 令和3年度は1,148,300円  
 令和4年度は1,750,150円



## 5) 事業実施の適切性

・計画通り事業は適切に実施された。

## 6) 目標・効果達成状況

【目標①】仁木町予約制バスの運行経費(町負担額)は、1,026万円※と、目標の1,000万円/年を上回り、目標未達成となった。

※全便運行による運行経費の増加やガソリン代単価の高騰等による影響による

【目標②】銀山地区における仁木町予約制バスの利用者数は、10人/日※と、目標の11人/日を下回り、目標未達成となった。

※R4.4月より予約なしでの乗降が可能となり、予約なしでの利用者の乗降場所を把握するデータがないため、予約あり利用者の銀山地区利用割合を、全利用者数に乗じて算出

## 7) 事業の今後の改善点

公共交通空白地域における新規路線導入により乗継利用を促進する等、利用者の増大を図る。(目標①、目標②への対応)

広報活動等による意識醸成による利用促進を図る。(目標①、目標②への対応)

## 8) 地方運輸局における二次評価結果

(令和5年度分と併せて評価)